

## はじめに

内閣人事局では、女性職員の皆さん一人一人が公務の魅力や仕事の面白さを実感しながらキャリアアップを図っていけるよう、様々な分野で活躍する全国各地の女性職員の方を紹介した「女性国家公務員のワークスタイル事例集」を、平成23年度から作成しています。

今回は、「転勤」をテーマに、国内外への様々な転勤を経験した10名の女性職員に、仕事をする上での心掛けやキャリアアップをしていく上で直面した困難やその乗り越え方、転勤してよかったこと等について語っていただきました。

是非この事例集を御活用いただき、今後公務員生活の中でキャリアを培っていくに当たり、参考になる要素を見付けていただければ幸いです。

### 様々な事例から「生き方を学ぶ」ということ

#### ～ロールモデルではなく、「ロールサンプル」として～

女性のキャリア形成支援に関する企業研修等に取り組みられている御経験から、自分なりのキャリアを見付けるためのヒントを教えてくださいました。

株式会社  
ライフ・ポートフォリオの  
前原はづき代表取締役社長に  
伺いました！

官民間問わず、あらゆる年代の女性が「ロールモデルがない」と嘆いています。これから本書を御覧になっても「この人のように頑張れない」「前提の環境が違う」「私のしたい仕事と家庭の両立はこれではない」という思いが湧いてくる方もいるでしょう。

ですが、自分の理想の条件を体現した「ロールモデル」など、そう都合よく見付かるものなのでしょうか？

働く女性をめぐる環境は、「男性育休」の権利の認識の高まりや「イクメン」の言葉の広がり、働き方改革の推進など、大きく変わり続けています。前提の環境が異なれば、必要となる行動も、選べる選択肢の幅も変わります。そのとき、本書にある様々な事例から何を学ぶのか。それは、キャリア形成や両立のための具体的な条件やノウハウだけではないはずです。

他の女性職員のストーリーを「違うところ探し」の減点方式で読むのではなく、参考のできるどころ、共感できるどころ、尊敬できるどころを探しながら読んでみてください。参考のできるどころ等を持った女性職員を「ロールサンプル」として、その「要素」を学んでみてはどうでしょう。そうすれば、きっとたくさんの知恵と勇気が得られるのではないのでしょうか。

いろいろな女性職員の歩みを「ロールサンプル」として、皆さんのキャリアと人生を、唯一無二のオリジナル作品として創り上げていってください。

## 女性国家公務員のワークスタイル事例集 転勤編 目次

① 女性国家公務員のワークスタイル(転勤編).....	01-40
01 東北への単身赴任、制度を活用して帰省を効率化 公正取引委員会 河合 美樹 審査局管理企画課審査専門官	01-04
02 子連れ単身赴任だからこそ家庭の事情はオープンに、皆で助け合える関係を構築 警察庁 総崎 由希 生活安全局生活安全企画課課長補佐	05-08
03 夫が背中を押してくれた、子どもを連れての地方転勤 総務省 滝 仁和 石川県健康福祉部少子化対策監室子ども政策課長	09-12
04 全国の刑事施設で、心理職としての専門性と現場感覚を養う 法務省 佐々木 彩子 矯正局成人矯正課国際受刑者移送係	13-16
05 途上国勤務も自分を成長させる貴重な経験、外交の現場に立てる喜びを胸に 外務省 小野 日子 東南アジア諸国連合(ASEAN)日本政府代表部次席公使	17-20
06 異動の多い国税の職場、それぞれの出会いは一生の財産 財務省 小原 久美子 国税庁関東信越国税局大宮税務署総務課長	21-24
07 子育て期を過ぎてからの地方転勤、選んだのは新幹線通勤という働き方 厚生労働省 五百旗頭 千奈美 労働基準局賃金課長	25-28
08 契機、海外留学を経て、海外赴任を実現 国土交通省 荒木 愛美子 国土政策局国土情報課地理空間情報活用推進官(併)内閣府政策統括官(防災担当)付参事官補佐	29-32
09 活躍する場所は、自然豊かな全国の国立公園 環境省 宮森 由美子 自然環境局国立公園課国立公園利用推進室係長	33-36
10 係員時代に習得した業務スキルを、少人数の地方事務所で活かす 人事院 山崎 いずみ 総務課秘書	37-40
② 転勤経験者の本音.....	41-44
③ 女性職員の活躍・ワークライフバランス推進のための3つの改革について.....	45-46
④ 両立支援制度の概要.....	47-48
⑤ 柔軟かつ多様なワークスタイル.....	49-52

▶過去の事例集はこちらから御覧いただけます。



▶アンケートの御協力をお願いします。

